

小坂よしひさ 粋いき台東へ 身近な区民のサポーター！

—KOMEITO—
公明党
令和4年度新春号

32号



台東粋いき新聞



ポストコロナの一年として

皆様、謹んで新年のお喜びを申し上げます。
 また昨年におきまして様々な点からお世話になり感謝申し上げます。
 世界中に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症ですが、今年になり再び、感染拡大となりオミクロン株が蔓延している状態です。
 医療従事者をはじめとして新型コロナに立ち向かっている皆様に対しあらためて敬意を表します。
 常日頃の予防にいっそう取り組んでいただき、今年こそポストコロナの一年になるよう様々な分野においてコロナ以前の姿に近づけてまいりたいと願っています。
 公明党区議団として、区民の安全・安心な生活を守るための取り組みを充実させ、福祉を向上させる必要性から、毎年提出しています予算要望書において3つの柱を軸とし、10分野で800を超える施策要望を展開し、その実現に向け頑張っている所存です。
 今年一年が皆様にとって素晴らしい年であるようお祈り申し上げます。

小坂よしひさ・令和3年度活動報告 ①

(3年度の主な議員活動を掲載)

令和3年
第1回定例会

代表質問で登壇

【要旨掲載】 2月19日 区長答弁は ()

Q 今後の区政の考え方について

- 1 ア ワクチン接種リハーサルについて。
(リハーサルを行い、万全を期す)
- イ 高齢者施設従事者と入所者における同時接種について。
(実施する)
- ウ 高齢者住宅や寝たきりの方、簡易宿舎、住所不定の方に対する接種について。
(ケアハウスは施設と同様。シルバーピアや簡易宿舎は医療機関、集団接種。寝たきりの方は訪問診療による)
- エ 個別接種の準備状況について。
(医師会等と診療所について調整行う)
- オ ワクチン接種における情報発信について。
(広報媒体など活用し、随時、正確に発信する)
- 2 永寿総合病院の支援並びに、地域医療の向上について。
(「中核病院運営支援協議会」で協議を行い、結果に基づき支援を実施)
- 3 保健所の状況と課題について。
(人員体制を充実させ対応を継続してきた。今回、接種担当部長及び課長を設置。今後も体制強化を図る)

Q 令和3年度予算案について

- 1 どのような思いで予算編成に取り組まれたのか。
(感染症対策等、新たな行政課題や社会保障関連経



- 費等の予算を確保。区民の生命と暮らしを守り抜くため全力で取り組む)
- 2 基金の有効活用や分かりやすい情報発信について。
(需要に留意した基金活用と充当事業を示すなど発信の充実に努める)

Q 観光戦略の見直しについて

- 1 コロナ禍で観光産業は甚大な被害を受けている。観光客の行動が変容し、非接触・非対面の観光が進むと思われるため戦略を見直し、収束後の準備にいち早く取り組むべき。
(事業者の情報発信、集客イベント以外の手法による検討を進めている。観光関連団体等の意見を伺いながら方向性を検討する)
- 2 観光事業者への支援について。
(事業転換、新たなビジネスに取り組む支援等を展開している。今後も相談体制の充実など積極的に取り組む)

Q ポストコロナへ向けた区長の基本姿勢について

ポストコロナに向け区民へのメッセージと、これからの台東区像について伺う。
 (社会の変革を的確に捉え区民とともに明るい未来を切り拓いていく。そのために各分野の施策や取り組みを着実に推進していく)

小坂よしひさ・令和3年度活動報告 ②

令和3年
第2回定例会

一般質問で登壇

【要旨掲載】 6月9日 区長答弁は（ ）



Q 新型コロナウイルスワクチン接種への取り組み体制について
一大プロジェクトであるワクチン接種に対する体制について伺う。

(4月に担当部門を新設。運営にあたり会場運営など全庁を挙げて取り組んでいる)

Q 災害対策について

1 「次の災害は必ず来る」という視点で対策を進め、いつ災害が発生しても対策を講じられるよう事前対策を考えるべきである。

(運営体制の強化を図りタイムラインの作成、職員の研修など庁内体制の整備を進める)

2 「個別避難計画」の作成について、また作成についての連携について。

(今後3年間で計画の作成を進める。また庁内検討委員会による関係課の連携体制のもと調整を進めていく)

Q 孤立防止対策について

1 社会的孤立の問題に対する認識について伺う。

(問題の深刻さが懸念されており、支援を行うこと

は重要な課題であると認識している)

2 実態を把握し、抱えている課題を明らかにすることについて伺う。

(実態や課題の把握に努めているところである)

3 中学2年生の17人に1人が「世話をしている家族がいる」と回答。こうしたヤングケアラーは社会問題化しており実態把握を早急に進めるべきであるかどうか。

(今後、様々な関係者に理解を深める取組を行うとともに、日常活動などの把握に努める)

4 子供一人に負担を抱え込ませない対策を講じるべきであるがいかかが。

(早期に適切な支援に繋げる取組が必要と考える)

Q オンラインによるフレイル予防について

地域活動の自粛や外出を控えた結果、筋力や認知能の衰え、口腔機能の低下などフレイルの進行が危惧される。ZOOMを活用した双方向によるフレイル対策を講ずるべきと考える。

(ZOOMによるフレイル教室を7月から行っていく)

小坂よしひさ・令和3年度活動報告 ③

令和4年度予算要望書を服部区長に提出！

10月5日、台東区議会公明党議員団は、服部征夫台東区長に対して「令和4年度台東区の施策と予算編成に関する要望書」を提出しました。

要望書は、各議員が地域の皆様から頂いたご意見・ご要望や、各種団体からのヒアリングをもとに取りまとめたものです。

福祉の充実と区政のあらゆる分野における「安全・安心」を最優先し、限られた財政資源のなか、事務事業の効率化や透明化を図りながら、次世代の育成、子育て支援を強化する視点で、各分野における必要な施策として、10分野800を超える要望事項を盛り込みました。

特集として、ウィズコロナ・ポストコロナ時代の台東区一「新たな日常」の実現のため、を掲載しました。

服部区長から「現場第一主義の公明党の皆さんの要望に対して、しっかり検討してまいります」とのコメントを頂き、今後、区議団として要望の実現のため全力で取り組んでまいります所存です。



3つの柱

- 一、デジタル庁創設にあたり、システムの統一・標準化を図り、マイナンバーカードの普及促進を高め、各種給付の迅速化やオンライン化を進めること。
- 一、脱炭素社会の実現を目指し、すべての事業において環境への配慮の観点を重視し、地域一丸となった環境負荷への低減に向けた取組を強化すること。
- 一、感染症対策の継続を想定すると同時に、ウィズコロナ、また、収束後のポストコロナを見据えた施策の展開を図ること。

台東区議会議員
台東区議会公明党幹事長

小坂よしひさ

御用の際はお気軽にご連絡ください。

■ 公明党控室（区役所7階）
TEL.03-5246-1485 FAX.03-5246-1488
■ 携帯電話：090-2337-7636

日頃の活動を
ホームページで発信中！
是非ご覧ください。

